

平成22年 8月13日(金)
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

記者発表資料

鹿島港南公共埠頭の岸壁エプロン一部が「陥没」

鹿島港南公共埠頭地区南公共埠頭A岸壁(水深10m)において、エプロンのアスファルト舗装部に陥没が確認されました。陥没は8月9日(月)午前4時45分頃に港湾管理者である茨城県委託の巡回警備により発見されたものです。

陥没は、直径約4m、深さ約1mの形状で、現在は港湾管理者によりバリケードが設置され、港湾利用者が立ち入らないよう措置が行われております。

南公共埠頭地区A岸壁は、国において整備した国有港湾施設であり、港湾法に基づき港湾管理者である茨城県に管理委託している施設です。

今後、港湾管理者と連携を図りながら陥没の原因解明及び対応策の検討を進めるとともに、管理委託のあり方についても検討することとしています。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ
茨城県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者会

問い合わせ先

国土交通省関東地方整備局鹿島港湾・空港整備事務所

副所長 阿部 二郎

第一工務課長 奈良 智

TEL 0299(84)7712

FAX 0299(84)0057

南公共埠頭A岸壁 陥没状況



○ 陥没状況（直径約4m）



○ 陥没深さ（約1m）